

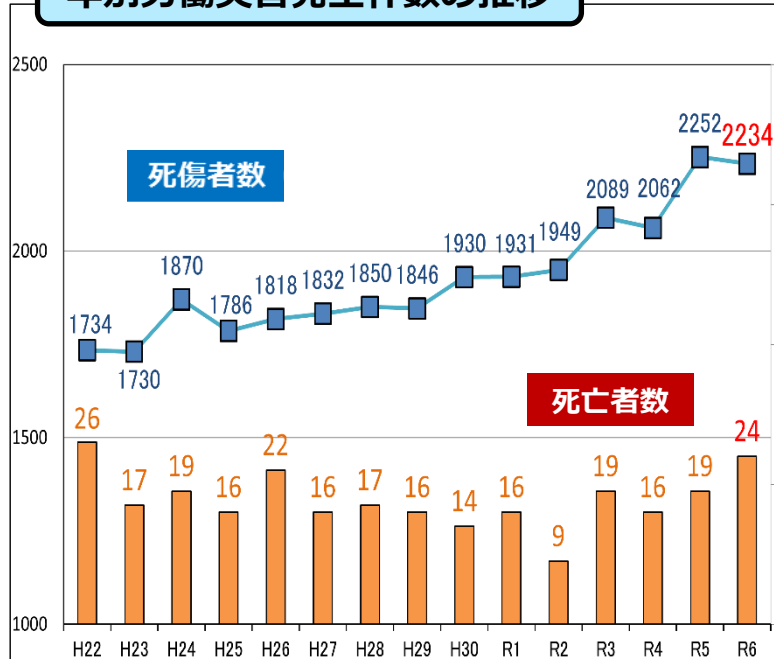
令和
6年

栃木の労働災害

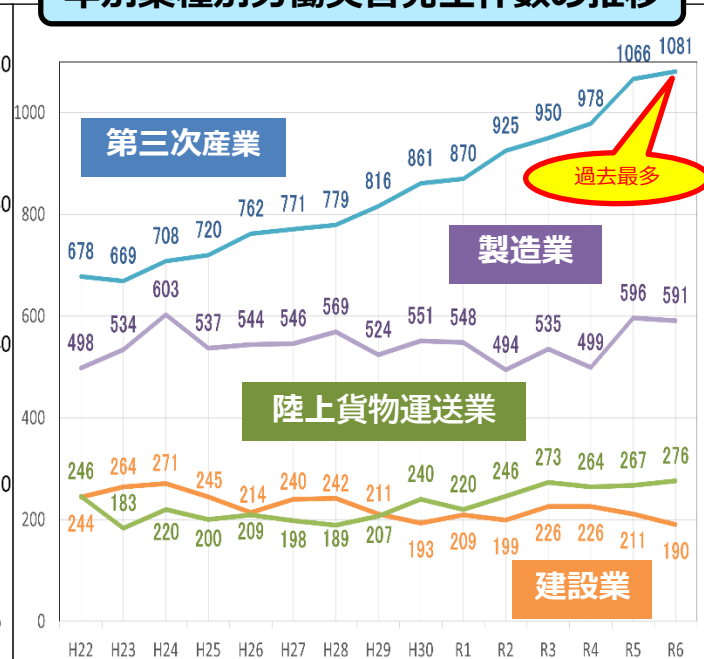
栃木県内の令和6年の休業4日以上死傷者数は2,234人となっており、依然として高止まりとなっています。そのうち、死亡者は24人と前年より5人増加しました。死亡者数が20人を超えるのは10年ぶりの事態です。

※ 統計・記事等は、すべて休業4日以上業務災害で、新型コロナ患者を除いたものです。

年別労働災害発生件数の推移



年別業種別労働災害発生件数の推移



業種別・監督署別労働災害発生状況

	栃木労働局			宇都宮署			足利署			栃木署			鹿沼署			大田原署			日光署			真岡署		
	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減
全産業計	19	24	5	6	3	-3				7	9	2		3	3	2	3	1	2	3	1	2	3	1
	2,252	2,234	-18	601	616	15	148	159	11	701	640	-61	164	170	6	299	337	38	129	119	-10	210	193	-17
製造業計	5	4	-1	1		-1				3	2	-1		1	1							1	1	±0
	596	591	-5	117	123	6	45	65	20	216	170	-46	58	65	7	65	83	18	28	28	±0	67	57	-10
土石採取業・鉱業																								
	12	8	-4	1		-1				10	8	-2							1		-1			
建設業計	2	4	2								3	3							2	1	-1			
	211	190	-21	66	64	-2	9	4	-5	58	54	-4	13	12	-1	28	30	2	15	12	-3	22	14	-8
鉄道・道路旅客運送業	1		-1	1		-1																		
	21	16	-5	10	5	-5	1	1	±0	4	6	2	3		-3		2	2	2		-2	1	2	1
道路貨物運送業	6	5	-1	1	1	±0				3	1	-2		1	1	1	2	1				1		-1
陸上貨物取扱業	267	276	9	57	74	17	17	23	6	90	84	-6	29	23	-6	33	30	-3	6	6	±0	35	36	1
林業		2	2											1	1					1	1			
	24	19	-5	7	4	-3	2	1	-1	3	2	-1	3	4	1	2	3	1	3	5	2	4		-4
農・畜・水産業		1	1																				1	1
	55	53	-2	7	8	1	2	4	2	8	7	-1	3	2	-1	24	20	-4	4	1	-3	7	11	4
第三次産業計	5	8	3	3	2	-1				1	3	2				1	1	±0		1	1		1	1
	1,066	1,081	15	336	338	2	72	61	-11	312	309	-3	55	64	9	147	169	22	70	67	-3	74	73	-1

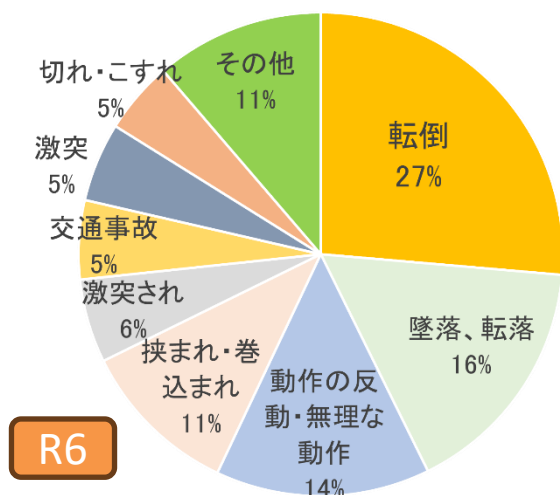


No.	業種	発生状況
1	製造業	高さ約3mの混合器の投入口を開け、原料を投入していたところ、投入口から転落し、スクリーンに巻き込まれたもの。
2	製造業	プラスチック破砕機の上部のぞき窓のLEDランプが切れたため、ランプの点検作業を行っていたところ、感電をしたもの。
3	建設業	民家の納屋のスレート屋根上で、スレート屋根の補強屋根葺きをしていたところ、スレート屋根を踏み抜いて墜落したもの。スレートの踏み抜き防止措置を行っていなかった。
4	運送業	高層ビル向け鉄骨梁材（長さ約12m・高さ約1m・重さ約4.0t）をトレーラートラックの荷台に橋形クレーンを使用し積み込み、荷台上で被災者が吊り具を外し荷台への固定作業の準備をしていたところ、被災者に向かって梁材が倒れてきて下敷きとなったもの。
5	運送業	砕石ストック場にて、ダンプ横で脚立に乗り、荷台に向けて放水していたところ、バランスを崩して脚立から転落し、頭部を強打したもの。

事業主が重大な過失（※）により死亡災害などの業務災害を生じさせ、労災保険給付が行われた場合、事業主からその給付に要した費用の一部を徴収することとなります（労働者災害補償保険法 第31条第1項第3号）。安全衛生関係法令の遵守並びに安全管理活動の推進をお願いします。

※法令に規定された危害防止のための直接的かつ具体的な措置に明白に違反した場合など

事故の型別発生状況

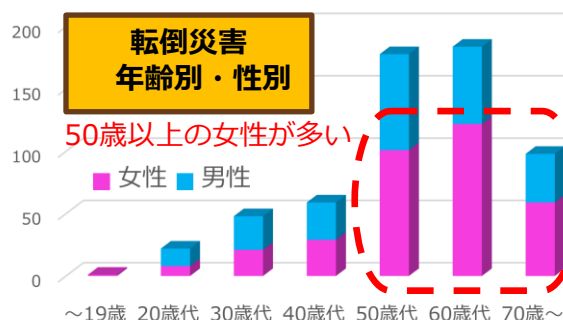


○「**転倒**」は筋力等が低下する50歳以上の高年齢労働者(特に女性。)に多く、段差があって躓きやすい、濡れていて滑りやすい等の原因が明らかな場合も多いものの、何もないところで躓いて転倒する、バランスを崩して転倒するなどの災害も多く発生しています。また、転倒時の負傷の重症化(骨折等)は骨密度の低い女性労働者に多くなっています。

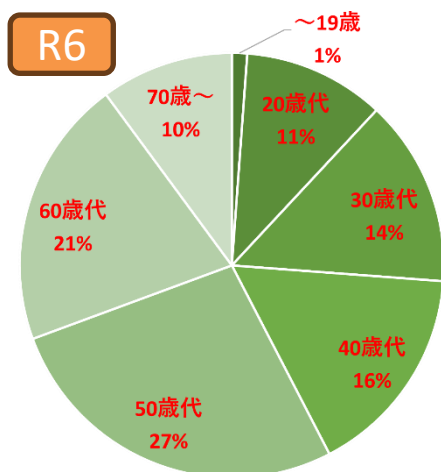
○「**墜落・転落**」は、重篤な災害に繋がりがやすく、昨年の死亡事故の要因として最も多い原因です。一方で、比較的低い場所からの墜落も多く、梯子や脚立の使用時や階段昇降時に、転倒災害と同じ要因のバランスを崩して墜落又は転落する災害が、あらゆる業種で増加しています。

○「**動作の反動・無理な動作**」は、重量物を持ち上げる作業や人の介助作業における腰痛災害が多く発生しました。また、無理な姿勢により膝や足首を捻るといった関節の障害も多く発生しました。

○「**はさまれ・巻き込まれ**」は、機械による災害が最も多く発生し、特に非定常作業での災害が多く発生しました。経験年数でみると経験が浅い未熟練労働者の災害が多く発生しております。



年齢別発生状況

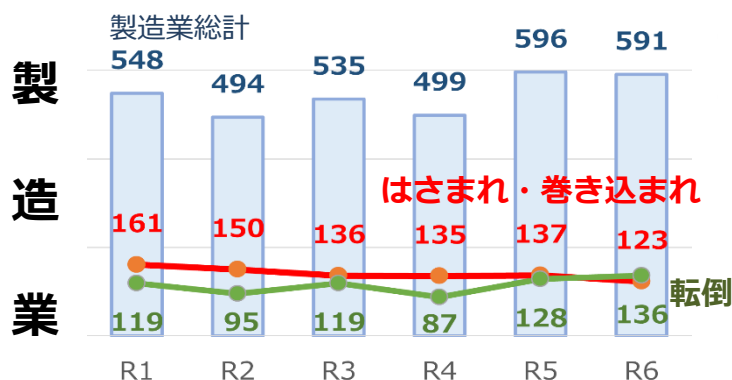


年齢が高くなるにつれ、全死傷者数に占める割合が高くなっています。特に「60歳以上」の被災労働者が占める割合が高く、31%と約3人に1人の割合となっています。また「50歳以上」では、58%と過半数を占めています。

このうち、「60歳以上」の事故の型別では、「転倒」災害が最も多く41%を占めており、次いで「墜落、転落」19%になります。

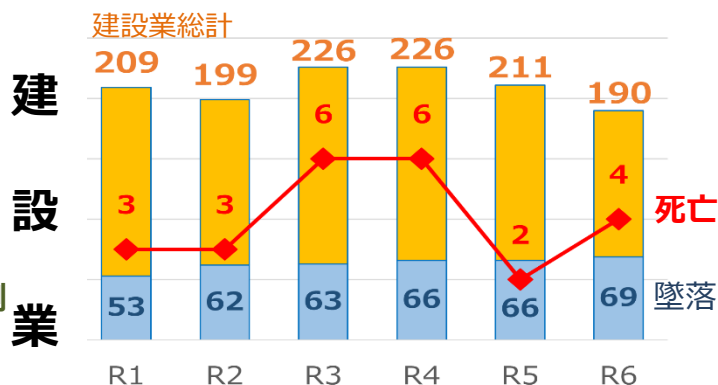
被災した際の休業日数は、年齢が高くなるにつれて多くなり、休業1か月以上を占める割合は「60歳以上」で59%、「50歳以上」では、64%となっています。

労働災害が増加又は減少傾向がみられない業種の特徴



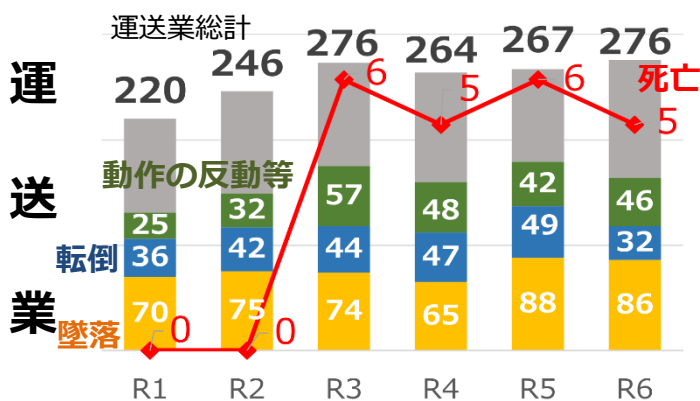
【災害の特徴】

- ・業種別では、「食料品製造業」が最も多く24%を占め、次いで「金属製品製造業」で18%を占めている。
- ・事故の型別では、「転倒」が初めて「挟まれ巻き込まれ」を上回り、最も多くなった。「転倒」は食料品製造業に多く、「はさまれ・巻き込まれ」は、金属製品製造業などで多発している。



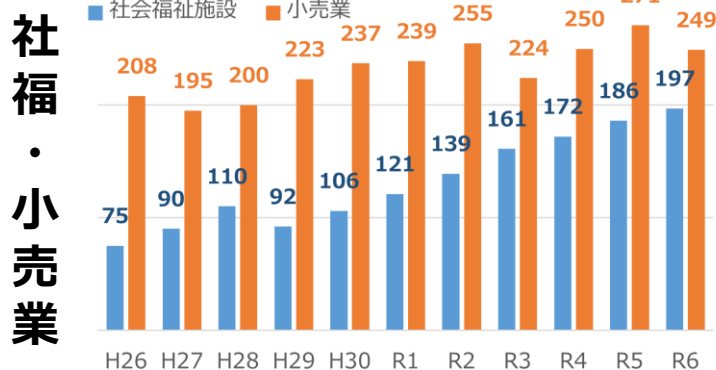
【災害の特徴】

- ・死亡災害が他業種と比較して多く、特に「建設3大災害」で、重篤な災害が多発している。
- ・業種別では、「建築工事業」が最も多く53%と半数を占め、次いで建築設備工事などの「その他の建築」で28%を占めている。
- ・事故の型別では、墜落・転落災害が最多で、足場や建屋、脚立・はしご等の設備からの墜落も多い。



【災害の特徴】

- ・死亡災害が令和3年以降、多発しており、墜落、荷崩れ、交通事故などにより発生している。
- ・事故の型別では、墜落が最も多く31%を占め、次いで動作の反動・無理な動作、転倒となっており、荷の取り扱い中における災害が多発している。
- ・年齢別では50歳代が最も多く、次いで60歳代、40歳代となっており、年齢層が高い。



【災害の特徴】

- ・社会福祉施設及び小売業の災害は年々増加している。
- ・社会福祉施設は、事故の型別で、転倒が最も多く25%、動作の反動・無理な動作で24%と、移動や介助作業中における災害が多い。特に女性の災害が84%を占める。
- ・小売業は、転倒が最も多く38%となっており、次いで動作の反動・無理な動作で16%となっており、行動災害が非常に多い。

栃木労働局が進める労働災害防止対策

死亡災害・後遺障害災害を防ぐ！

製造業

STOP！はさまれ巻き込まれ災害（機械災害対策）



建設業



STOP！建設三大災害（墜落災害、重機災害、倒壊・崩壊災害）

運送業

重大な労働災害（荷役五大災害）を防ぐためには



陸災防事業：興味がある事象者は、所轄監督署へご相談ください。

安全管理士等の個別コンサルティング（無料）

条件あり

全産業

梯子や脚立からの墜落・転落防止



中災防事業（製造業、第3次産業、鉱業及び農業）

中小規模事業場安全衛生サポート事業（無料）

条件あり

休業災害（主に行動災害）を防ぐ！

えー
Aない声掛け運動！

行動災害の原因となるA(あ)ぶない行動【A(あ)わてる、A(あ)せる、A(あ)などる】を防ぐため、みんなで声かけをする運動です。



New!!



えー
Aない声掛けシート



ポスターによる危険の見える化で注意喚起。

エイジフレンドリーガイドライン

高齢労働者特有の災害が年々増加しています。
高齢労働者の災害防止対策を紹介します。



助成金制度があります



転倒災害防止対策



転倒災害は年々増加しており、現在最も多い災害の型です。ハード面、ソフト面両面からの対策が必要です。その対策を紹介します。

ないっす
ころばNiceとちぎ

転倒災害は、特に高齢の女性労働者に多く発生しております。
転倒しにくい身体づくり体操を動画でわかりやすく紹介します。



New!!



ないっす
ころばNiceシート



ポスターによる危険の見える化で注意喚起。

New!!

ないっす
痛めNiceとちぎ

腰痛災害は、特に休み明けの午前中に多く発生しており、急に身体を動かし痛めるケースが多くあります。腰痛対策運動を紹介します。



腰痛を防ぐ



小売業と介護職場（社会福祉施設や病院）で腰痛が多く発生しております。
抱えあげない介助（ノーリフトケア）等の事例を紹介します。

労働者への教育

様々な業種に対応した漫画や動画、作業マニュアル等、日本語だけでなく、外国人労働者向けに14か国語での教材を用意しています。



マニュアル

漫画



ひと、くらし、あいのために

厚生労働省・栃木労働局・各労働基準監督署

Ministry of Health, Labour and Welfare